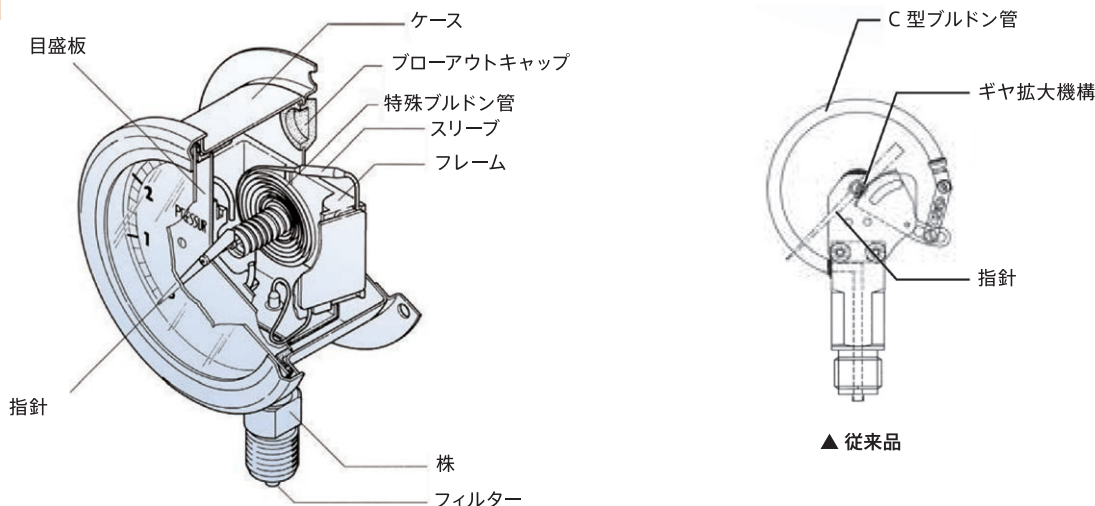


ギヤレス圧力計の特徴

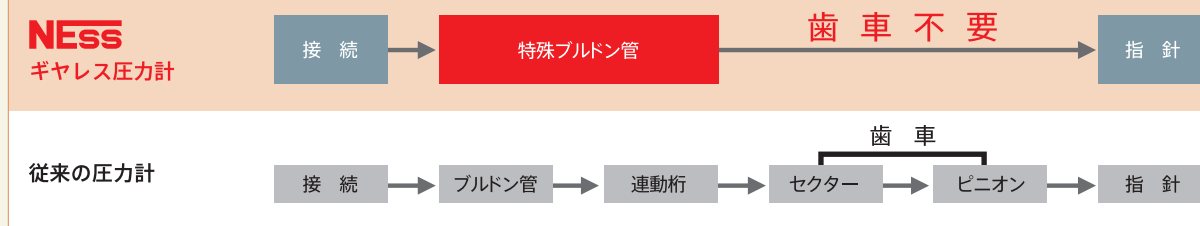
ブルドン管の動きを歯車機構を介して指示させる従来の圧力計は、振動や脈動により歯車部分が損傷し、指示不能に陥る事が少なくありませんでした。

これ等の不便をとり除く為に、歯車の材質を変更したり、グリセリン等の液体をケースに充填する等の対策が考えられましたが、いずれも完全な解決策とはなりません。NESS ギヤレス圧力計は、これ等の欠点をとり除く為に、歯車機構を全く使用しない特殊ブルドン管を採用した画期的な製品であります。

構造説明図



ギヤレス圧力計の構造 (他の温度計との相違点)



ギヤレス構造のメリット

- ① 振動に強い ディーゼルエンジン、コンプレッサー、ポンプ等に最適
- ② 故障が少ない
- ③ 耐久力がある
- ④ バックラッシュが無い
- ⑤ ヒステリシスが少ない
- ⑥ 指針の動きがスムーズ
- ⑦ 脈動圧と過大圧に強い

標準仕様

〔測定流体〕: 空気又は液体 (但し、腐食性がないこと)
 〔ダイヤル径〕: φ100
 〔接液部材質〕: SUS316
 〔ケース材質〕: アルミ(黒塗装)/ステンレス

〔精度〕: 直結型 ±1.6%F.S./隔膜式 ±2.0%F.S.
 〔接続〕: 各規格に対応
 〔使用温度〕: 直結型 -65~120℃/隔膜式 -20~100℃

隔膜式 標準仕様

〔ダイヤフラム材質〕: SUS316L (その他材質はお問い合わせください)
 〔下フランジ材質〕: SUS316 (その他材質はお問い合わせください)

注意事項

- ① 使用温度を超える流体に使用する場合は、必ずサイホン管を介して圧力計を取付ください。

参考図面



GB-SUNA



GB-SUSA



GB-SBPA



GB-SUNS



GB-SUSS



GB-SBBS